

「多摩区のコミュニティを考えるワークショップ」実施結果 概要



▼日時：平成31年2月16日（土）14：00～17：00

▼場所：PAZ COFFEE SHOP

▼参加者：区民20名、ファシリテーター（区職員）8名

▼プログラム

1. 開会、あいさつ（5分）
2. 本日の進め方について（5分）
3. 自己紹介（10分）
4. 「まちのひろば」の取っ掛かりについての情報共有（5分）
5. 「まちのひろば」の情報を共有しよう（20分）
6. 発表と全体での共有（10分）
＜休憩（5分）＞
7. ソーシャルデザインセンター（SDC）の取っ掛かりについての情報共有（10分）
8. ソーシャルデザインセンターのイメージを考えよう（70分）
＜休憩（10分）＞
9. 発表と全体での共有（20分）
10. 今後の進め方について（5分）
11. おわりに（5分）

○「まちのひろば」の情報を共有しよう

- ・自身が把握している区内の「まちのひろば」はどんなところがあるか、どんな活動が行われているかについて、情報を出し合い、ガイドマップに落とし込みました。
- ・各グループで出された情報を発表し、全体で共有しました。

各グループで共通して出てきた「まちのひろば」(◎：一番のおすすめとして出されたもの)

<場所・空間>

- ◎生田緑地(かわさき宙と緑の科学館(プラネタリウム)、中央広場 など)
- ◎多摩川(サイクリングコース など)
- ◎多摩区役所(ロビー、7階、11階食堂の営業時間外)
- ◎こども文化センター
- ◎図書館
- ◎自治会・町内会館
- ◎団地(市営団地の屋上、集会所 など)
- ◎専修大学(サテライトキャンパス、会議室 など)
- ◎学校、幼稚園、保育園
- ◎タマックの家(ショールーム など)
- ◎PAZ COFFEE SHOP
- ◎みた・まちもりカフェ
- 公園(稲田公園、新川(ニヶ領用水)公園、上布田公園 など)
- 市民館(会議室 など)
- 子育て支援センター
- 老人福祉センター
- 神社・仏閣(長念寺、中野島神社のお祭り など)
- レンタルスペース、コミュニティスペース(長沢ひろば、遊友ひろば、たまりば、中野島MUKU など)

<活動>

- ◎地域カフェ、コミュニティカフェ、多世代カフェ、認知症カフェ
- ママとあそぼうパパもね!

その他の「まちのひろば」(◎：一番のおすすめとして出されたもの)

- ◎MASA 2 SETS、◎テクモピア(ゲームセンター、VRゲーム)、◎カルペディエム(フレンチレストラン)、◎モコモコship待合ロビー(カラオケ店)、多摩スポーツセンター、日向山、夢パーク、中野島MUKU、中野島のえん堤、新多摩川ハイムの広場、老人いこいの家、公園体操、喫茶店、ドラッグストア、不動産屋、いなげや(スーパー)、牛角、空き家、個人宅(一人住まいで)
- ※多摩区外の施設として、リリオス、新城ベース、ノクチカ、たまり

○ソーシャルデザインセンターのイメージを考えよう

- 4つの場面についてイメージを考えポストイットに書き出し、意見を出し合いながら場面ごとにグループの意見をまとめ、用紙に文字や絵で記入して、場面ごとの様子を表現しました。
- 各グループでまとめた意見を発表し、共通する要素などを整理しました。

(1) 準備段階：どういう人達が集まって議論するか

【複数のグループで共通して出てきた意見】

- 多世代（働いている世代（20代～50代）、パパママ世代、子ども、シニア、学生など）
- 実際に市民活動をしている人、中間支援的な活動をしている人、町内会などの活動もしている人

【その他の意見】

- 市民活動団体や企業、大学など多様な主体
- デザイン、見せ方の上手な人（力を借りるイメージ？）
- やりたい人をかき集める
- 子ども参加の可否を明確にした上で参加者を募らないとパパママは参加しづらい
- 多摩区に精通していない人
- こういった会議でよくみる人ではなく、参加したくても参加できない人の声をどうひろうか
- まずはSNSから発信（箱ありきではない）

(2) オープニングデー：場所や運営主体のイメージ

【複数のグループで共通して出てきた意見】

<場所>

- みんなが行きやすいところ（駅前（平坦な場所）、駅近、多摩川など）
- 場所はいらない、SNS・インターネットの活用等

<運営主体イメージ>

- 公募、自主的な市民
- 運営能力がある人

【その他の意見】

<場所>

- できれば区役所周辺
- 向ヶ丘遊園跡地
- 公共施設（管行政サービスコーナーなど）
- 専修大学サテライトキャンパス
- PAZ COFFEEのような外から入りやすいカフェのようなところ
- イベントができるスペースが必要
- 多摩川（オープニングイベントのイメージ？）
- オープニングデーではなく、オープニングマンス、だらだらやる

<運営主体イメージ>

- 公募で運営者を募る（ある NPO 法人の方と情報交換した際に、SDC の運営者が公募されれば、受託するところもあるのではないかとの話があった）
- 有償ボランティア
- プロデューサー、コーディネーターは仕事として
- スタッフは常駐（5・6人）
- ビジネス感が必要、できれば法人化

(3) 活動の日々：どういう取り組みをするか

【複数のグループで共通して出てきた意見】

- 誰でも自由に使える場所
- 市民が自由に活動するための窓口
- 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に列記された内容多数

【その他の意見】

- 学生の発表の場として活用
- 働く世代が気軽に立ち寄れる場（24時間営業）
- インターネットの利用を前提とした24時間利用可能なサービス
- 外出できなくても意見を言える環境づくり
- 安価に自由に使える場所
- コンビニのイートインスペースのような場所
- スモールスタート（小さなアイデアから）

(4) 3年後：どういうことが成し遂げられているか

【複数のグループで共通して出てきた意見】

- 多世代交流
- 市民活動の活発化
- 地域のコーディネーター
- 公が担わない事を担当

【その他の意見】

- 最先端の始まりの街
- 日常不便解消（シニアの外出が気楽に）
- 収益を上げられている
- SDCで育った人材が地域に出ていく
- 助け合いのコミュニティが出来上がっている
- NPO 法人化されている（自主運営できている）
- 活動したい人が出展できるような場になっている
- 身の丈の実現と夢を語る

(参考 1) 各グループで出された「まちのひろば」の情報一覧

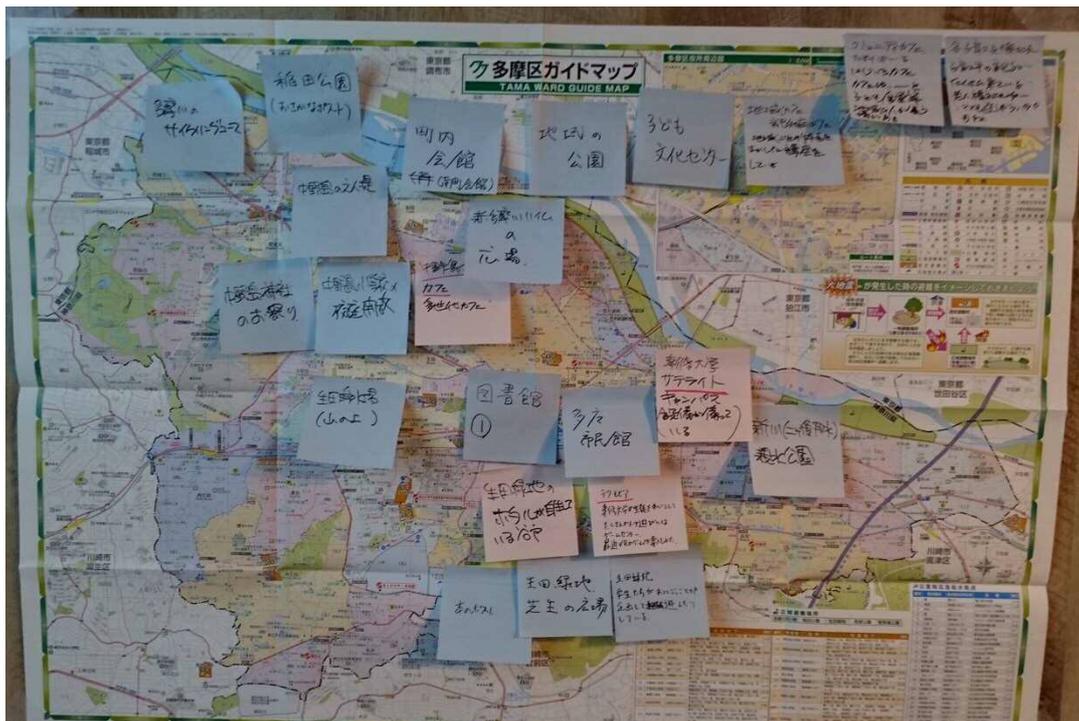
グループ① (◎：一番のおすすめとして出されたもの)

- ◎生田保育園：建て替えたらスペースできます！
- ◎保育園：お庭で遊べます
- ◎まちもりカフェ
- ◎向ヶ丘遊園駅前の専修大学、コミュニティセンター
- ◎こども文化センター（区内 8 か所）：中学校区に 1 つあり、多世代が利用できる
- ◎多摩区役所：区民全員来たことがある！
- ◎市営団地の屋上
- ◎カルパティエム：フレンチレストラン／みんなで料理教室
- ◎モコモコ s h i p：カラオケ／ロビーに座る場所があり、知らない人と待ちながら会話
- トラッグストア
- 高齢者施設
- 神社・仏閣
- 上布田公園：こぢんまりしている
- ママとあそぼうパパもね！
- ままとんきっず
- 牛角（焼き肉屋）
- タマックの家
- こども文化センター（区内 8 か所）
- まちカフェ、中野島公民館
- ケア・カフェのぼりと（福祉パル）
- 区役所 11 階食堂（営業時間外）
- 公園：区内 130 か所くらい
- 老人福祉センター：日曜角学放？
- いなげや（スーパー）
- 学校、幼稚園、保育園
- 地域カフェ
- 不動産屋
- 空き家
- 区役所ロビー
- 図書館
- 生田緑地、公園
- 支援センター
- 保育園の園庭開放
- 稲田公園：広い！



グループ② (◎：一番のおすすめとして出されたもの)

- ◎中野島カフェ：多世代カフェ
- ◎生田緑地のホテルが自生している谷戸
- ◎テクモピア：専修大学の生徒を中心としてたくさんの人が遊びにくるゲームセンター、最近VRのゲームが導入された
- ◎専修大学サテライトキャンパス：設備が備わっている
- 多摩川のサイクリングコース
- 稲田公園（おさかなポスト）
- 中野島のえん堤
- 町内会館（南町会館）
- 地域の公園
- こども文化センター
- 中野島神社のお祭り
- 中野島小学校の校庭開放
- 新多摩川ハイムの広場
- 図書館
- 多摩市民館
- 本のポスト
- 生田緑地、芝生の広場
- 生田緑地：学生達が鬼ごっことかを企画して遊んだりしている
- 生田??場（山の上）
- 新川（二ヶ領用水）親水公園
- 地域カフェ、認知症カフェ：地域ごとの特長を生かした講座をしている
- コミュニティカフェ、たまりばーる、にじいろカフェ、カフェゆいと、子ども食堂等：地域の人が集う場がある
- 各子育て支援センター：子育て中の親子がたくさん来ている、ママとあそぼうパパもね！、老人福祉センター



グループ③ (◎：一番のおすすめとして出されたもの)

- ◎地域コミュニティカフェ：特に住民になじみのある町会・自治会会館で開くカフェ／勉強会、集会、茶話会
- ◎地域の自治会館：コミュニティカフェをすでに開催されている（新川）
- ◎生田緑地：誰でも集まれるワークショップなどを開きやすい、小さな子どもが多く集まるので、未来の葉層を伝えやすい
- ◎長沢カフェ（長沢ひろば）：単身高齢者の行く場所が少ないとの住民の思いから開かれた
- ◎みた・まちもりカフェ：色々なことに使える、調理もOK
- ◎MUKU（天然素材のムクで出来たコミュニティスペース）：調理OK、レンタルスペース、映画、ママランチ、子どもと楽しめる、ママへのセミナーやイベント
- すげカフェ：認知症カフェ
- たまりば
- 中野島ほっこりカフェ（地域カフェ）
- 区役所7階
- 市民館
- 市民館会議室（大小）：安く借りられるのがよい
- 専修大学：使える所が限られるが、集まれる所もある
- 専修大学サテライトキャンパス、会議室等
- コスモスの家（デイサービス）でやっている水曜食事会
- 団地の集会所
- 認知症カフェ（丘の上カフェ）（カフェマップ参照）
- JFKスカイキッズ
- PAZ COFFEE SHOP
- ぐらす・かわさき 遊友ひろば：台所、スクリーンあり
- ブックオフの前のスペース（療育ネットワークのコミュニティカフェ）
- 生田緑地
- 認知症カフェ
- 地域の自治会館
- 個人宅（一人住まいで）：気楽
- 一般の喫茶店
- 老人いこいの家
- 公園体操、生き生き体操：三田子文とかでやっている



グループ④ (◎：一番のおすすめとして出されたもの)

- ◎多摩川
- ◎各自治会・町内会会館
- ◎タマックさん内ショールーム、えほんとおうちほっこりカフェ
- ◎MASA 2 SETS：音楽好きが集う場所（老若男女）
- ◎PAZ COFFEE SHOP
- ◎生田緑地、多摩川、多摩区役所（図書館）：健康ゴルフ、散策、スポーツ、読書を楽しめる、健康長寿
- ◎生田緑地（プラネタリウム、青い列車のある広場）
- 生田緑地、多摩スポーツセンター、多摩区役所、こども文化センター
- 日向山
- 専修大、明治大、日本女子大
- 長沢ひろば
- 地域カフェ、自治会館、農地、図書館、夢パーク
- 長念寺
- 寺、神社
- 宿河原付近 泥遊びのできる公園：やきいもとかができる

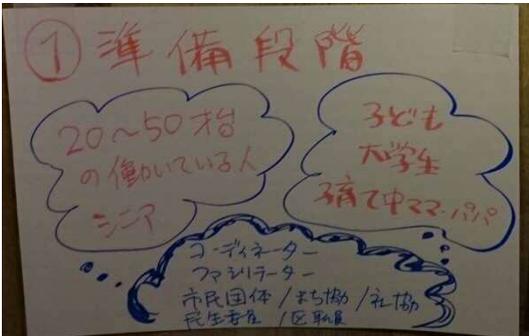
(他区)

- 新城ベース
- リリオス
- ノクチカ（溝ノ口）
- たまり（麻生）



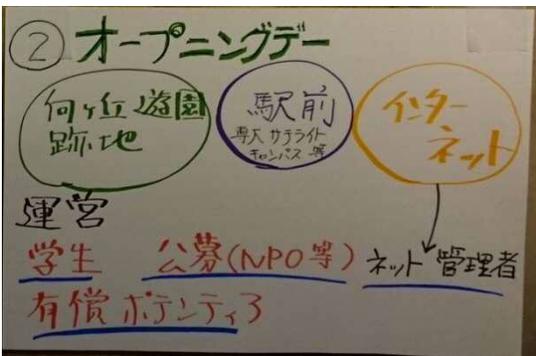
(参考2) 各グループで出されたソーシャルデザインセンターのイメージ

グループ①



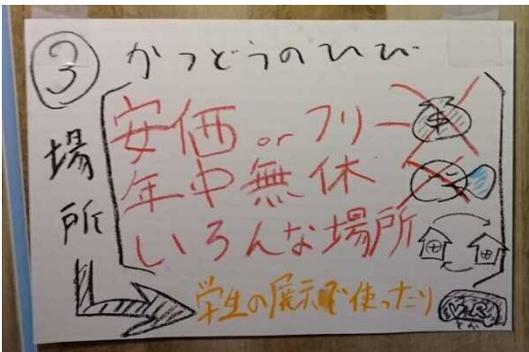
(説明)

- 多世代、特に大学生、20代から50代の働いている世代の方が参加しやすい仕組みで検討したい。



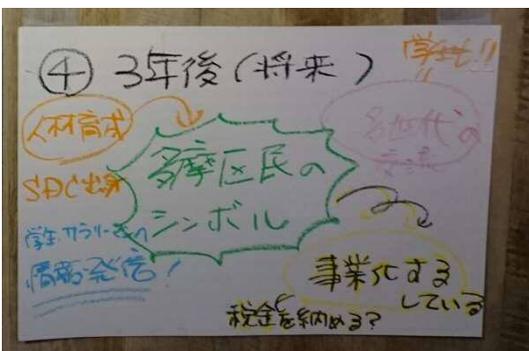
(説明)

- 場所はいくつか意見が出た。一つは、向ヶ丘遊園跡地。グランピングなど注目を浴びる施設ができる。
- 専修大学のサテライトキャンパス。駅前でよい。インターネットでの参加もできるように。
- 運営はエネルギッシュな学生さんなどを公募で。
- インターネットの管理者として専門家も必要。
- 責任感や、やりがいのため有償ボランティアで。



(説明)

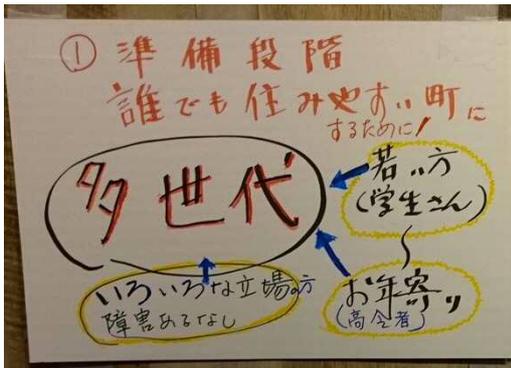
- 場所は安価又はフリーで、年中無休。いろんな場所。
- 学生たちの活動発表の場などとして活用されている。



(説明)

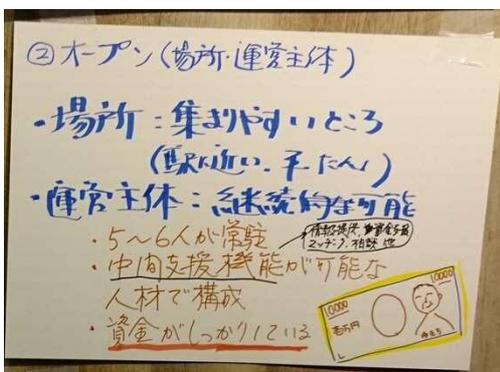
- 多摩区民のシンボル、夢になっている。
- 多世代の交流の場。
- ソーシャルデザインセンター出身の人材が育っている。学生、サラリーマンの情報発信の場になっていて、何かが事業化されているかも。

グループ②



(説明)

- 住みやすい町のために、若い学生からシニアまで、業者の方、障がいのあるなしに関わらず意見交換をしたい。



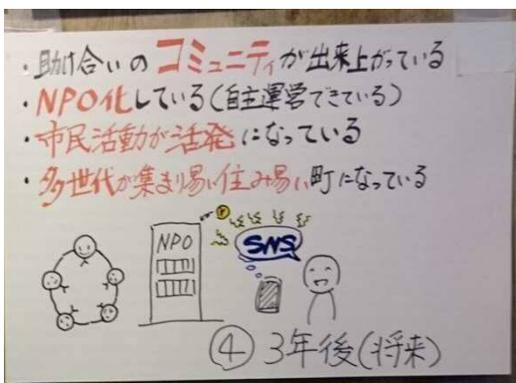
(説明)

- 集まりやすい所、駅に近いところ、平坦なところ。
- 資金をしっかりしていることが重要。
- 中間支援などをできる方に構成員としていて欲しい。



(説明)

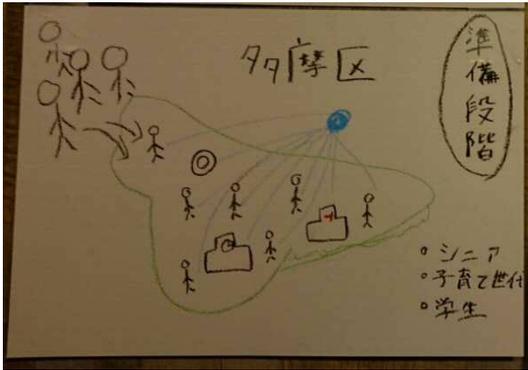
- いろいろやりたいことがある人、グループが、実現に向けた相談をソーシャルデザインセンターに持ち込む。
- 相談を受けたSDCは、人、場所、情報などを町の中から収集してきて提供する。
- 取組が実現する際は、SDCで宣伝を行う。
- この活動を循環して、日々の活動がやりやすくなる。
- みんながフラッと立ち寄れる場所にあると良い。



(説明)

- 助け合いのコミュニティが出来上がり、NPO法人として自主運営が出来ている。
- 市民活動が活発。
- スモールスタートで始まった小さな取組を積み上げて、大きなものにしていき、最終的には多世代が集まって住みやすい町になっている。

グループ③



(説明)

- シニア、子育て世代、若者など様々な方の参加、病院や役所などの意見も欲しい。
- 身体が不自由で、あまり外に出られない人の意見も聞くため、ネットなどの活用も。
- 区外から来られた方の意見も聞きたい。



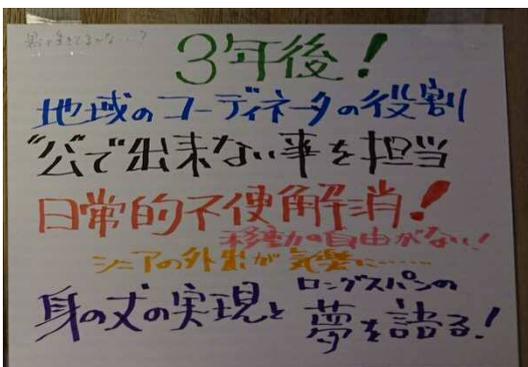
(説明)

- オープニングデーは、一日でやるのではなく、「ずるずるだらだら」オープニングマンスなどで、長く行う。
- 場所は、誰でも行ける多摩川で。
- 内容は、世代別もあり、時には一緒にやるものも。
- 一発大きいので終わりではなく、小規模で毎日やる。
- やる人が自主的に、行政が中心ではなく、市民が中心になってやる。



(説明)

- サロンやまちの広場などの紹介、市民が困っている課題やニーズの把握、夢の実現をサポートしたい。
- 引きこもり、交通不便解消のため、100円タクシーや自動運転バスの導入。
- 外に出れない人のために、タブレットなどの貸出を行うとともに、オンラインで意見交換できる場を提供。
- 誰が来ても楽しめるコミュニティスペースの実現。



(説明)

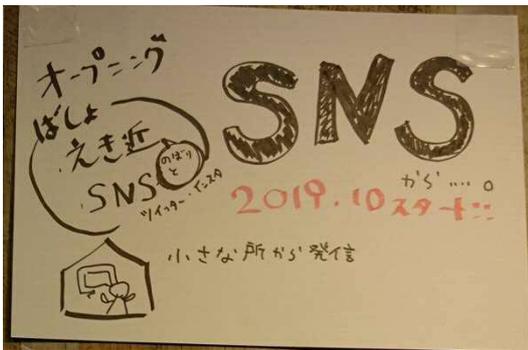
- 地域のコーディネータの役割を担当。
- 公で実現できないことを担当するポジションになっている。
- 日常的な交通不便の解消の実現。
- 身の丈のことばかりでなく、大きな夢の実現も目指したい。

グループ④



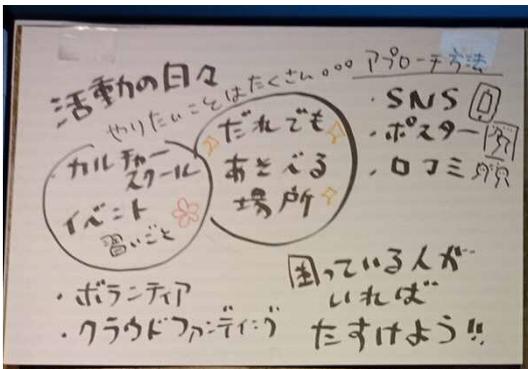
(説明)

- とにかくやりたい人 (NPO、子育て世代、大人、お店の人など) が集まり主体となる。



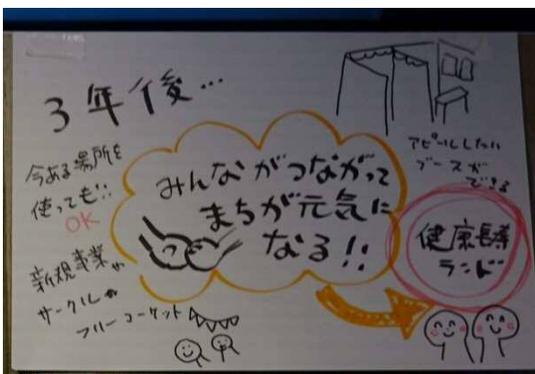
(説明)

- 今年の10月にスタート。
- 多摩区民祭を代替的に使ってアピール。
- すぐできることはSNSで拡散。



(説明)

- やりたいことはたくさんある。
- カルチャースクール、イベント、習い事。
- 誰でも遊べる場所、既存の施設など、開いている施設などを使って、こんなことやりたいという人たちが集まってやる。
- SNS、ポスター、口コミなどで周知。



(説明)

- ソーシャルデザインとは、社会的な課題を、社会的なつながりと、社会的な資源を使って、課題解決してこうという理念。
- 夢を形に、育てやすい、健康長寿を全うできる多摩区を実現していきたい。
- ワクワク感の中で、ボランティアの参加と、区内のつながりを生み出し、夢の実現を目指したい。